

# 2026年度 CPTPPを題材とした学生調査・研究プロジェクト実施概要

## 1. 趣旨

- 不確実性が高まる国際経済環境の中で、現在我が国が推進しているCPTPPを題材として、学生主導による調査・研究プロジェクトを実施する。
- 学生（グループ）は、本プロジェクトを通じて、CPTPPの意義や経済発展との関係等について理解を深めるとともに、取りまとめた調査・研究成果の発表や政府職員（内閣官房TPP等・米国関税措置総合対策本部事務局（以下、TPP本部））との交流にも取り組む。
- 内閣官房TPP本部は、本プロジェクトを通じて、若い世代との対話を通じた政策理解の促進を図る。

## 2. プロジェクトテーマ

CPTPPを題材とした学生調査研究プロジェクト ～変動する国際環境と、日本のこれから～

### 【調査・研究テーマ（例）】

- 具体的な国際貿易や海外投資上の課題への対応
- CPTPPがもたらす経済活性化の事例
- 特定の産業や企業活動に着目したCPTPPとの関係 など

※ 参加グループは各々の関心等を踏まえてテーマを設定（設定後の見直しも可能）

## 3. 参加対象

国際経済・通商政策に関心のある学生グループ（専攻・学年不問）

- 大学・大学院のゼミ・研究室・演習科目等を想定
- グループごとに指導者（教員等）を登録
- 1グループあたり学生5名程度
- ゼミ等の学生数に応じて、同一大学／ゼミから複数チームの参加も可能

## 4. 活動スケジュール（想定）

4～5月頃	参加グループの決定
6月	調査研究テーマの決定、各チームによる調査・研究
春～夏にかけて	TPP本部職員による基調講義
9～10月	チームごとの中間報告会（オンライン、各チーム ↔ TPP本部）
時期未定	調査・研究の取りまとめ、成果発表会（全チーム一堂に会して実施）

※ TPP本部では、充実した調査・研究となるよう、基調講義の実施に加え、必要に応じて資料提供や関係機関との面会等のサポートを行う。

※ 成果発表会に併せて、関係団体への訪問や政府職員との交流についても検討中。

## 5. 問い合わせ先

内閣官房 TPP 等・米国関税措置総合対策本部事務局（対外情報発信担当）

TEL：03-3581-0323（平日 月～金 9:30～18:15）